



## 《学校教育目標》 『感動のある文洋中学校』

【 文洋校区青少年健全育成協議会総会・地区懇談会を終えて 】

『ケータイ安全教室』へ、保護者の皆様もぜひおいで下さい！

7/9 (火) 6校時 (14:40~15:30) 於：体育館 です。

先の6月28日(金)には、本年度の育成協総会及び地区懇談会を行いました。お忙しい夕方から、多くの保護者・地域の皆様、小学校の先生方の御出席を賜り、たいへん感謝しています。

この日、地区懇談会での議題のひとつは「携帯電話(スマートフォン)の使い方」でした。小学校区毎に分かれて熱心に協議していただき、この課題解決への協力を話し合っていました。

会の終わりにお話しさせていただいたのですが、今から20年くらい前でしょうか？私が、教員になって十数年後でしたが、「ポケベル」という数字でメッセージを送る小型の機器が出ました。その後、通常の携帯電話より小型の「PHS」が出て、それから携帯電話も小型化して、個人間でメールをやりとりできる機能がつきました。さらに、携帯電話で色々なことができるようになり(多機能化)、現在のスマートフォンのように一人一台パソコンを持ち歩いているような状況が生まれています。この携帯電話(個人が所有する通信機器)の変遷は、変化の激しい現代社会を象徴しているとも言えるものです。

こういった状況に伴って、子どもたちの間でケータイ・スマホの使用に起因する様々なトラブルが生まれているのは、皆様もご存じのことと思います。

私ども大人は、進化し続ける携帯電話、スマートフォン関連の言葉についてどのようなものか説明したり、携帯電話・スマホの使用に伴っておこる様々な事象、また被害に遭わぬよう配慮すべき点を説明したりということがなかなかできません。

スマホがらみの言葉は多いですね。ここ最近よく耳にする「ライン」「ツイッター」「インスタ」といったもの以外にも「ブログ」、「SNS」、「モバゲー」「炎上」、……。なかなか適宜説明できる大人は少ない一方、子どもたちの順応は早く、それだけに十分な配慮をしないまま問題が発生しているという実態があります。

これまでの社会では、親は自分の経験をもとに考え、子どもたちに助言することができました。ところが、現在携帯電話・スマートフォンに関連して起こっている様々な事象の解決を難しくしている要因は、

◇子どもの世界で携帯電話・スマホを通じて起こっていることについて

①保護者が現状を知らない、あるいは意味がよくわからない。

②現状がわかっても、専門知識も少なく、また子どもの頃に自分が経験したことでもなく、どのようにアドバイス・指導したらよいかよくわからない。

の2点です。まさに今、緊急の対応とそのため共通理解が必要になっているわけです。

9日に行う「ケータイ安全教室」では、専門の携帯電話会社の方を講師に招き、スマホに関連したトラブルの現状、子どもたちをそういった問題からどのように守るべきか、子どもたち自身の使用で気を付けることは何か、また、家庭ではどのように配慮していくかなどのアドバイスを与えて下さいます。

どうぞ、保護者の皆様にも多数お越しいただき、講演をお聞きいただくようお願いします。

